

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	EARTH ROOM(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R8年1月1日		R8年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年1月1日		R8年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な療育プログラムの中で楽しみながら成長できる	EARTH ROOMでは、毎日様々な療育プログラム=イベントを開催しています。その中で自分の好きな事・やってみたいみたい事を見つけ、まずは楽しむ【心】を育み、中長期的に健康、感覚、行動、コミュニケーション・社会性といった生きていくための【ちから】の成長の実現を目指しています。	子ども達が、未来への展望を明確に捉えられるように、農業体験や職場体験などのより社会性を帯びた体験活動を取り入れていきたい。また、そのためには企業側の理解と協力が不可欠なため地域活動や交流の場に積極的に参画し、企業との繋がり、【輪】を構築していきたい。
2	個性に合わせた5つのROOMで安心して過ごすことができる	EARTH ROOMでは、音が苦手な子やひとりで作業をしたい子どもたちの為に広さ・用途の違うROOM(部屋・空間)が5つあり、特性やニーズに合わせて使い分けをしています。お友達トラブルや気持ちの切り替え等、空間を変えることで子どもたちが自分の【心】に向き合いやすい環境提供を心がけています。	子どもたち一人ひとりに、より一層寄り添うために発達や行動に対してのアセスメント能力の向上を図るとともに、言語聴覚士や公認心理士のような児童の発達に特化した経験豊富な特定に国家資格を持った職員を配置する活動の強化を行い子供たちへの支援の質向上に寄与したい。
3	児童及び保護者に対しきめ細やかな対応・サポートができる	EARTH ROOMでは、子どもたちが正しく成長していく為には、保護者さまの心の余裕・豊かさが大事だと認識し、児童の特性と併せて保護者さまの心・状況にも寄り添っていきたくと考えています。利用日の調整や送迎時間の融通など最大限サポートしてきたいと思っています。	児童と保護者さまの困りやニーズに迅速に対応するために、情報共有の徹底と外部講師によるケーススタディを受講し、保護者さまに幅広く的確なアドバイスができるように職員の資質向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園等、地域との交流機会の不足	保育所や認定こども園、幼稚園、地域の他のこどもとの交流の機会が乏しいのが現状です。原因として日常的に接しないこどもに対しEARTHROOMのこどもたちがコミュニケーションをとるのは、ややハードルが高く本人たちも強く要望しないことがあげられます。	保護者様の要望などを伺いながら、慎重に必要性と方法などを模索・検討していきたいと思っています。
2	保護者同士の交流機会の不足	保護者同士の意見交換の場として交流の機会を求める声もありますが、仕事と家庭の中で時間に余裕がない保護者様が極めて多く、実現が困難な状況となっております。	ニーズに応じた柔軟な対応が求められる為、保護者さまと相談を重ね開催方法を検討していきたいと思っています。
3			